

..... 編集後記

◆ 10月を迎え、あちらこちらで秋を感じます。世の神々がみな出雲大社に集合するため、ちまたには神がいなくなるという説もある旧暦「神無月」です。その神々が政治、経済、生活の安全・安心を議論しているのか分かりませんが、安心して楽しく生活できるようにしたいものです。さて、今月号は皆様から頂いた多岐にわたる話題・情報など、個人投稿による構成となっています。深まる秋の夜長に乗じて、楽しく安心できるような記事をお読み下さい。

◆ まず初めは、渡辺氏によるメコンデルタ沿岸、ハードンビーチでの地形測量調査の報告です。4回の調査経験を基に、ベトナムの生活風景・最新情報等が調査状況とあわせて詳しく紹介されています。表紙や本文の写真をしながら読み進むと、現地の風景・調査の様子が想像できる楽しい読み物です。

◆ 続いて、川幡氏ほかによる「危険化学物質による環境汚染」は本誌600号、603号、604号に続く第4弾で、今回はゴミ焼却灰からの化学物質溶脱に関する話題です。循環型社会形成には廃棄物の無害化と再利用とが必須で、そのためには安全性評価が不可欠です。昨年度まで6年間にわたるプロジェクトの研究成果の概要がまとめられています。

◆ 地質調査所OBの藤井氏は、防空壕陥没事故と土木工事との関連について、地質学的な見地から解明し、空洞に関して警鐘を鳴らしています。地震や火山噴火などの自然災害に対して安全対策が必要なことは当然ですが、トンネル工事や採掘等による空洞、山の切り崩し等、人間が手を加えた後の自然についても、人間が安全管理しなければならぬものです。安全に対する気持ちが新たにになります。

◆ 須藤氏による「古いフィールドノートから」は2回目で、今回は伊那カオリンを対象に信州ローム層の粘土化を定量的に評価するために熱分析結果を利用した研究例です。分析結果から地質現象を理解する手法の参考になります。

◆ 人類の活動の場が広がり多様化したために、地下空間の利用が課題となっています。当所の二酸化炭素地中貯留研究グループに属する奥山氏ほかは、今年3月末から4月にかけてオーストラリアのCSIROと共同研究のためCO2CRCのOtway実証実験とAPP/CDC技術フォーラムに参加してきました。オーストラリアの二酸化炭素対策研究開発の様子、実証実験の概要、背景等を鋭い切り込みで紹介しておりますので、地球環境・地下空間利用・地中処分やその安全に対する関心が高まること、間違いなしです。

◆ 東北産学官連携センターの高橋氏ほかは、今年の春に東北地区で開催された、高校・高専の学生向けのサイエンスキャンプの模様を紹介しています。高校・高専のご子弟をお持ちの方は、機会を見て参加の検討をしてみるのはいかがでしょうか。

◆ 続いては、同氏による海外で話題となっている情報を紹介する「地質分野2008年春の話題」です。今回は、地質と生活との関わり、建材としての砂岩、人類世が認定されるか、など興味深い話題満載です。

◆ 最後は、田中氏による「私の本棚」で、今回は地殻変動観測に利用されることが急速に増えつつある干渉合成開口レーダに関する推薦本です。

◆ 来月号は特集号【北海道の浜と砂】を予定しております。多彩な誌面とするため、皆様方からの多くの投稿文をお待ちしております。 (金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 涉

委員：藤原 治・杉原光彦・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース 第650号 2008年 10月号
定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2008年10月1日 発行

編集 産業技術総合研究所

発行人 株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

発行所 株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年（IYPE）に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2008 Geological Survey of Japan